



『令和5年度 市長とのOPENTーク』

～少子化対策～ 子育て・孫育て施策



由利本荘市長 湊 貴信

人口減少問題



	平成25年		令和5年	
	<u>83,772人</u>	10年間で⇒	<u>72,278人</u>	$\Delta 11,494$
0~14歳	9,448人		6,903人	$\Delta 2,545$
15~64歳	49,182人		37,363人	$\Delta 11,819$
65歳以上	25,142人		28,012人	+2,870



市の様々な課題や施策の中で今回は・・



子育て・孫育て施策

をテーマにお話しします。



本日の講演内容は・・・



- 子育て世代包括支援センター『ふぁみりあ』
- 伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金
- 子育て支援金・子育てファミリー支援事業助成金
- 保育料助成・副食費助成（おかず代）
- 福祉医療制度 医療費の無料化を実施！



子育て世代包括支援センター 『ふぁみりあ』



安心して妊娠期から子育て期までを過ごせるよう、切れ目のない支援を行っております。
不安・悩み・疑問について、保健師や助産師が電話、窓口、訪問、オンラインで対応しています。

〈子育て世代包括支援センター業務〉



①母子手帳
交付時面談

④妊娠8か月
頃電話相談

②助産師の相談日（毎週水曜日）

③臨床心理士による子育て相談（月1回）

⑤養育支援訪問事業

⑥マタニティ教室

⑦産前教室

⑧産後教室

⑨パパママサロン

⑫産後ケア事業

⑩乳児家庭全戸訪問事業

⑪家事支援サービス事業



ほかにも・・・
妊娠前から切れ目のない
支援を行っています。

- * 不妊治療費等助成事業
- * 乳幼児健康診査
- * 5歳児健康相談
- * 予防接種事業
- * フッ化物洗口事業
- * 発達相談
- * 保育園・こども園訪問
など・・・

伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金



令和5年4月より実施

妊婦や低年齢期の子育て家庭に寄り添い、安心して出産・子育てができるための相談支援に併せて、出産育児関連用品の購入や子育て支援サービスの利用などにかかる負担軽減を図る経済的支援（計10万円）を実施しています。



妊娠届出時に「アンケート」や「子育てガイド」を活用しながら、**出産までの見通しを立てるとともに**、出産・子育て応援交付金事業の流れを説明します。面談終了後、**出産応援ギフト（5万円）を支給します**

出産後の育児の悩みや疲れ等に寄り添って相談支援を行うため、**乳児家庭全戸訪問（あかちゃん訪問）時（生後2箇月頃）**に面談を行います。面談終了後、**子育て応援ギフト（5万円）を支給します**

由利本荘市子育て支援金

平成19年度より実施中



由利本荘市の次代を担う新生児の誕生を祝うと共に、その子育てを支援するため『由利本荘市子育て支援金』を支給しています。

【主な支給要件】

- 1, 由利本荘市に一年以上居住している方
- 2, かつ出産時に由利本荘市に住所を有している方
- 3, 子どもを出生時に由利本荘市に住所登録している



2人目以降の子どもを出産した人や配偶者に支給します。

- ・第2子 児童一人当たり10万円
- ・第3子以降 児童一人当たり20万円

由利本荘市子育てファミリー支援事業助成金

平成30年度より実施中



就学前のお子さんを養育する世帯の経済的な負担軽減と、安心して子どもを生き育てやすい環境づくりをすすめるため、一時預かり利用料等を助成しています。

【助成要件は以下のとおり】

助成の対象となる方は、次に掲げる要件をすべて満たす方です。

- (1) 由利本荘市に住所を有すること
- (2) 平成30年4月2日以降に第3子以降が出生し、
かつ、その子を含む3人以上の子を養育していること
- (3) 就学前の子を養育していること



【助成金額】 1世帯年額上限 15,000円/年1回

【助成対象費用】

助成の対象となるのは、一時預かり利用料（幼稚園型除く）、病後児保育利用料、ファミリーサポート利用料、任意予防接種費、ミルク購入費、紙おむつ購入費、離乳食購入費で、就学前の子に係る費用

由利本荘市 保育料助成・副食費助成（おかず代）



- 3歳未満児の保育料軽減（3歳以上児は国が無償化） ※年齢は年度年齢

①国基準保育料を由利本荘市が**約4割負担**しています。

生活保護・市民税非課税世帯は**無料**です。

- ・保育料算定基準上の第2子は、市4割負担後の金額の**半額**
- ・保育料算定基準上の第3子以降は、**無料**
- ・ひとり親世帯等の第2子以降は**無料**（所得制限あり）



②①の助成後の保育料負担に対し、県すこやか子育て支援事業を活用して、さらに**1/4～全額助成**（所得制限等あり）



- 給食副食費（おかず代）

月額4,700円を上限に助成しています。

【由利本荘市には、上限を超えて給食を提供する施設がないため**実質無料**】

福祉医療制度



赤ちゃんから高校生世代までの受給者数 8, 219人
うち市拡大分受給者 7, 418人
(令和5年7月末時点)



赤ちゃんから高校生世代（18歳の年度末）まで、
入院時の食事代、病衣代等を除く

医療費の無料化を実施！

--- 県の制度対象外部分を市で拡大 ---

- ①対象年齢を高校生世代まで拡大
- ② 1 医療機関 1 カ月あたり
自己負担上限 1, 000 円を市で負担
- ③所得制限の撤廃

保護者の皆さまからは、とても喜ばれています！

子育て家庭が安心と喜びを感じながら子どもを産み育てられるよう、引き続き、子どもを持つ保護者の皆さまの経済的負担の軽減を図ってまいります。

	父または母の市民税所得割		父または母が所得制限超過 ※所得制限基準額を 超えた方
	非課税	課税	
0歳児	県の制度で医療費自己負担なし		③県の制度では 全額自己負担 未就学児2割・小学生以上3割
未就学児	県の制度で医療費 自己負担なし	県の制度では 医療費一部自己負担あり 1 医療機関 1 カ月当たり ②上限 1, 000 円 	
小学生			
中学生			
	本市独自制度で医療費自己負担なし		
高校生世代	①県の制度では全額自己負担（3割） 		本市独自制度で医療費自己負担なし